

# 活 動 報 告

## 日本語・日本事情活動報告 1989～1990年度

(担当) 浮田三郎

### 日本語（初級・中級・上級）と日本事情の授業

数年前に比べて、広島大学のキャンパスで見かけられる外国人留学生の数は、益々多くなって、広島大学も国際的な雰囲気を用意しつつある今日この頃である。本年度も、広島大学の外国人留学生の数は、大幅に伸び、1990年11月1日現在で484人になっており、その内約40パーセントの留学生が、現在、西条（東広島）キャンパスと東千田（広島市）キャンパスで、留学生センターの主催する「日本語・日本事情」か「日本語研修コース」の授業を受けている（その他の留学生も、そのほとんどが、以前になんらかの形で、「日本語・日本事情」か「日本語研修コース」の授業を受けている）。

このように、広島大学の統合移転の過渡期にあつて、東千田と西条の両キャンパスで、充実した授業が行われるためには、前回も述べた通り、教官数や留学生の多様性などの種々の問題を抱えており、現状での問題解決は非常に難しいようである（前号参照）。

ところで、広島大学留学生センターは、正式には、新たに「指導」部門を設けて、1990年6月8日に発足したが、日本語教育の部門は、それまで教育学部にあった「日本語・日本事情」と「日本語研修コース」がそのまま移ったことになり、日本語教育の形態はそれまでとほとんど変化していない（前号参照）。即ち、正規の授業、種々の研究留学生のための補習授業、教員研修留学生のための集中授業などの種々の日本語・日本事情の授業、日本語・日本文化に関わるプログラム、6か月集中の予備教育（日本語研修コース）を行っている。授業内容は、より体系的でより充実したものをと、試行錯誤はしているが、未だに大改革には至っていないのが実状である（前号参照）。ここでは、従来の日本語・日本事情の授業に関わる活動を中心に、以下に1990年度のカリキュラムと授業内容を学生便覧から抜粋してみる。

表1 日本語・日本事情授業科目

授 業 科 目	開 単 位 設 数	学 期 別 週 授 業 時 間			備 考
		前 期	後 期	通 年	
◎ 日 本 語 初 級 I	1	2	2		広島大学外国 人留学生のため の授業である。 日本語初級 I から日本語初級 IVまでは前期又 は後期で受講。 ただし、◎印 の授業は東千田、 西条の両地区で 開講。
◎ 日 本 語 初 級 II	1	2	2		
日 本 語 初 級 III	1	2	2		
日 本 語 初 級 IV	1	2	2		
◎ 日 本 語 中 級 I - 1	2	2	2		
日 本 語 中 級 I - 2	2	2	2		
◎ 日 本 語 中 級 II	2	2	2		
◎ 日 本 語 中 級 III	2	2	2		
日 本 語 中 級 IV	2	2	2		
日 本 語 中 級 V	2	2	2		
日 本 語 中 級 VI	2	2	2		
◎ 日 本 語 上 級 I	2	2	2		
◎ 日 本 語 上 級 II	2	2	2		
◎ 日 本 語 上 級 III	2	2	2		
日 本 語 上 級 IV	2	2	2		
日 本 語 上 級 V	2	2	2		
◎ 日 本 事 情 I	2	2	2		
◎ 日 本 事 情 II	2	2	2		
日 本 事 情 III	2	2	2		
日 本 事 情 IV	2	2	2		
日 本 文 化	2	2	2		
日 本 語 特 講	15		30		

表2 日本語・日本事情授業内容（その1）

授業科目	単位数	担当 教 官	授 業 内 容	学期	備 考
日 本 語 初 級 I	1	長 友	日本語学習経験のほとんどない学習者を対象に発音・文字・基本文型を教える。	前	西条キャンパス
				後	
	1	内 藤 (非常勤)		前	東千田 キャンパス
				後	
日 本 語 初 級 II	1	小 野 (非常勤)	日本語学習経験のほとんどない学習者を対象に問題演習を行う。	前	西条キャンパス
				後	
	1	渡 部 (非常勤)		前	東千田 キャンパス
				後	
日 本 語 初 級 III	1	縫 部	日本語学習経験のほとんどない学習者を対象に、読解指導を行う。	前	西条キャンパス
				後	
日 本 語 初 級 IV	1	今 田	日本語学習経験のほとんどない学習者を対象に、聴解、会話演習を行う。	前	西条キャンパス
				後	
日本語中級 I-1	2	田 畑 (非常勤)	日本語初級を終わった程度の学習者に、解説・文法指導を行う。	前	西条キャンパス
				後	
	2	小 林 (非常勤)		前	東千田 キャンパス
				後	
日本語中級 I-2	2	未 定	日本語初級を終わった程度の学習者に、読解・文法指導を行う。	前	西条キャンパス
				後	
日 本 語 中 級 II	2	大 槻 (非常勤)	日本語初級を終わった程度の学習者に、作文・会話の指導を行う。	前	西条キャンパス
				後	
	2	渡 部 (非常勤)		前	東千田 キャンパス
				後	
日 本 語 中 級 III	2	浮 田	日本語初級を終わった程度の学習者に、小説・随筆などの講読の指導を行う。	前	西条キャンパス
				後	
	2	古 浦 (非常勤)		前	東千田 キャンパス
				後	
日 本 語 中 級 IV	2	多和田	日本語中級I～IIIを終わった程度の学習者に、読解・文法・口頭表現(会話)・文章表現(作文)を教える。	前	西条キャンパス
				後	
日 本 語 中 級 V	2	未 定	日本語中級I～IIIを終わった程度の学習者に、漢字の使い方・発音・漢語の体系などを教える。	前	西条キャンパス
				後	
日 本 語 中 級 VI	2	田 畑 (非常勤)	日本語中級I～IIIを終わった程度の学習者に小説などの読解指導を行う。	前	西条キャンパス
				後	
日 本 語 上 級 I	2	相 原	読解・スピーチ・聞き取り・上級文法・作文を指導する。	前	東千田 キャンパス
				後	
	2	深 見		前	西条キャンパス
				後	

表2 日本語・日本事情授業内容（その2）

授業科目	単位数	担当 教 官	授 業 内 容	学期	備 考
日 本 語 上 級 II	2	奥 田	日本文学を題材として、日本語の語彙・構文・表現・発想の特徴を追求し、あわせて日本文化の構造と特色を検討する。	前 後	西条キャンパス
	2	小 林 (非常勤)	読解・スピーチ・聞き取り・上級文法を教える。	前 後	
日 本 語 上 級 III	2	未 定	作文・読解を柱にした、課題別総合指導を行う。	前 後	西条キャンパス
	2	未 定		前 後	
日 本 語 上 級 IV	2	大 槻 (非常勤)	読解・スピーチ・聞き取り、上級文法を教える。	前 後	西条キャンパス
日 本 語 上 級 V	2	浮 田	漢字の知識のある学習者を対象に読解・作文を中心に日本語の表現現法の指導を行い、日本文化について講義・討論を行う。	前 後	西条キャンパス
日本事情 I	2	水 町	文字・音声・映像を通して日本の社会・文化生活様式の理解をはかり、学習者の自国の事情との比較にもとづく討論を行う。	前 後	西条キャンパス
	2	位 藤 (非常勤)	日本の文化及び習慣等について考察する。	前 後	
日本事情 II	2	奥 田 (非常勤)	日本の文化及び習慣等について考察する。	前 後	西条キャンパス
		未 定		前 後	
2	深 見		前 後		
日本事情 III	2	浮 田	日本人の思考様式を、異文化間コミュニケーション的視点により講義・討論する。	前 後	西条キャンパス
日本事情 IV	2	中 村	日本文学を題材として、日本人の発想の特徴や日本文化の構造と特色を講義・討論する。	前 後	西条キャンパス
日本事特講	15	浮 田 多和田 長 友 深 見 渡 部 (非常勤) 大 槻 (非常勤) 小 野 (非常勤)	日本語をほとんど知らない学生に発音・文字・会話・作文の初歩を集中的に教える。	後	教員研修留学生のためのプログラム
日 本 文 化	2	浮 田 深 見	日本語・日本文化研修留学生を対象に、日本文化のさまざまな側面について、より深い知識と理解を得させる。 なお、講義に合わせて随時実地研修も行う。	前 後	

## 日本語日本文化研修プログラム

深見兼孝

広島大学では、昭和60年度より日本語日本文化研修留学生を受け入れているが、昭和62年度より特別経費の交付を受け、「日本語日本文化研修プログラム」を開始し、現在に至っている。平成元年度後期および平成2年度の前期のプログラムの概要は、次の通りである<sup>1)</sup>。

### 平成元年度

10月20日 (金)	オリエンテーション		
10月27日 (金)	見学	映像文化ライブラリー・ 広島城・縮景園	
11月3日 (金)	見学	宮島	
11月17日 (金)	講義	日本の城・庭園	工学部教授 鈴木 充
11月24日 (金)	見学	錦帯橋・岩国城	
12月1日 (金)	見学	シャープ工場	
12月15日 (金)	講義	日本の伝説・神話	郷土史家 飯田米秋
1月12日 (金)	見学	酒蔵群見学	
2月2日 (金)	見学	マツダ	
2月17日 (土)			
}	似島合宿		
2月18日 (日)			
3月1日 (木)			
}	スキー旅行		
3月3日 (土)			
3月18日 (日)			
}	見学	京都市・奈良市	
3月20日 (火)			

### 平成2年度前期

4月27日 (金) オリエンテーション

- 5月11日(金) 見学 筆作り工場  
 5月18日(金) 見学 そごう物流センター  
 6月1日(金) 見学 広島刑務所  
 6月3日(日) 見学 花田植え  
 6月8日(金) 見学 キリンビール工場  
 6月15日(金) 講義・見学 日本の陶芸 陶芸家 川原浩二  
 6月22日(金) 講義 日本の美術 総合科学部教授 金田 晋  
 6月29日(金) 見学 東広島市立八本松小学校  
 7月6日(金)  
 〃 似島キャンプ  
 7月8日(日)  
 9月7日(金) 見学 広島市郷土資料館・NHK  
 9月14日(金) 修了式

今回は前回の反省の上に立ち、プログラムの作成に学生の希望を大幅に取り入れた。しかしながら、限定が難しい「日本文化」の中で、学生の関心に共通する部分が少ないせいか、出席率は相変わらず低かった。学生はこのプログラムの他、ニーズに応じて日本語のクラスや日本人学生対象の授業にも出席できるようになっており、そのせいか、「修了式」後の懇談会の席で「時間がない」という声も聞かれた。一方、「充実度の不足」を指摘する声もあり、多様な選択支を自分に有利に活用できなかった学生もいた。選択支の多さは潜在的に教育内容の質の低下に結び付きやすい側面があり、今後、学生のニーズに柔軟に対応できる体制を維持する一方、教育内容の質を高める努力が必要であろう。

なお、以前より「日本語・日本文化研修留学生」は研修の終わりに「研修レポート」を指導教官に提出することになっていたが、昭和63年度受け入れ生については「研修レポート」を集め、「日本語・日本文化研修レポート集」として刊行した。これは今後も続けていく予定である。

注1 昭和63年度及びそれ以前の受け入れ学生とプログラムについては「留学生日本語教育」1号、2号を参照されたい。

# 第10期教員研修留学生コース中間報告 (1990.10.-1990.9.)

峯 正 志

## I 研修プログラム

### A 教育学

- 1) 教育学, 心理学, 教科教育学に関する英語による講義演習。(一年)
- 2) 授業参観, 特別活動見学をはじめ, その他各種の教育施設, 社会教育の見学。(一年)
- 3) 課題研究—指導教官の下で, 各自の研修テーマを研修。(一年半)

### B 日本文化, 日本事情 (一年)

- 1) 日本文化, 社会に関する多方面からの英語による講義, 実習。
- 2) 文化活動に参加, 各種文化施設の見学。

### C 日本語教育

- 1) 日本語特講 (初級～中級レベル)。(6カ月)
- 2) 上記以外の日本語・日本事情のクラス。(学生の能力, 必要に応じて)

## II 研修プログラム内容

### A 教育学

#### 1) 講義・演習

- 1989/11/ 2 (木)「日本の教育制度」教育学部教授 青木薫  
11/ 9 (木)「日本の幼児教育」教育学部教授 祐宗省三  
11/16 (木)「日本の初等・中等教育」教育学部助教授 安原義仁  
12/13 (水)「各国の教育事情 I」教育学部助教授 二宮皓  
12/14 (木)「各国の教育事情 II」教育学部助教授 二宮皓  
1990/ 1/ 9 (火)「日本の教員養成」教育学部教授 吉田正晴  
1/30 (火)「日本の高等教育」西条共同研修センター講師 田畑佳則

#### 2) 学校・教育施設見学

- 1989/10/20 (金) 広島市青少年センター  
10/27 (金) 広島市映像文化ライブラリー  
11/24 (金) 広島大学附属幼稚園・附属中学校・附属高等学校  
12/ 8 (金) 広島市中央公民館・広島市立中央図書館



- 12/15 (金) 広島県教育委員会  
 1990/ 1/26 (金) 広島市教育センター  
 6/12 (火) 呉工業高等専門学校  
 6/20 (水) 広島商船高等専門学校  
 7/ 2 (月) 広島市立広島養護学校

B 日本文化・日本事情

1) 講義・演習

- 1989/11/ 7 (火) 「日本国憲法」法学部教授 畑博行  
 12/ 2 (土) 「茶道」陣崎美知子  
 「華道」陣崎美知子  
 1990/ 6/27 (水) 「日本の美術 I」教育学部教授 斎藤稔  
 7/ 4 (水) 「日本の美術 II」教育学部教授 斎藤稔

2) 見学

- 1989/10/20 (金) 平和記念公園  
 10/27 (金) 広島城・縮景園  
 11/10 (金) 宮島  
 1990/ 2/ 3 (金) - 2/ 3 (土) 尾道市  
 5/25 (金) 岩国城・錦帯橋

C 日本語教育

1) 日本語特講 (1989年10月～1990年2月。週平均30時間)

	9 : 50-10 : 40	10 : 50-12 : 30	13 : 20-15 : 00	15 : 10-16 : 50
月	深見	渡部	渡部	深見
火	小野 (9 : 00～)	小野	奥田	多和田
水	浮田	浮田	大槻	大槻
木	深見	浮田	深見	長友
金	深見	深見		浮田・深見

日本語講師

浮田三郎	広島大学教育学部助教授
多和田眞一郎	広島大学教育学部助教授
長友和彦	広島大学教育学部助教授
深見兼孝	広島大学教育学部講師
大槻温子	広島大学教育学部非常勤講師
奥田久子	広島修道大学教授
小野由美子	広島中央女子短期大学講師

渡部浩見 広島大学教育学部非常勤講師

2) 上記以外の日本語・日本事情のクラス(1990年4月～9月。能力と必要に応じて選択)

D その他

1990/ 2/12 (月) - 2/14 (水) スキー研修 (大山)

2/17 (土) - 2/18 (日) 国際交流活動研修会

(広島市似島臨界少年自然の家)

2/26 (月) - 2/28 (水) 研修旅行 (萩市・津和野町)

6/ 7 (木) 国際理解交流会 (高宮町立船佐小学校)

6/15 (金) - 6/17 (日) 青年国際セミナー

(国立江田島青年の家)

7/ 6 (金) - 7/ 8 (日) 青少年との国際交流「似島キャンプ」

(広島市似島臨界少年自然の家)

## 日本語研修コース修了者

多和田 眞一郎

### 第十期 (1990年4月～90年9月) (10人)

氏名	クラスでの呼び名	国	生年	専攻	専門教育
Ijong, France Gruber	フランス	インドネシア	1961	水産食品学	広島大学
Yanuar	ヤヌアル	〃	1960	流体工学	〃
Simpol, Lourdes Rimando	シンポル	フィリピン	1961	生命化学	〃
Ishiki, Ishihara Mario	マリオ	メキシコ	1956	植物学	〃
Andres-Lazaro Alfredo	アルフレド	スペイン	1964	文学	〃
Hussin, Othman Bin	オスマン	マレーシア	1958	水工土木学	鳥取大学
Gülenc, Selim Yücel	セリム	トルコ	1965	政治学	島根大学
Nguyen, Thanh Xuan	グエン	ベトナム	1956	病理免疫学	島根医科大学
Xavier, Ricardo Machado	リカルド	ブラジル	1963	医学	〃
Khan, Mahmod-Ul-Zaman	マハムド	パキスタン	1962	物理化学	岡山大学
Suhartono	スハルトノ	インドネシア	1959	電気工学	〃
Nana Kusumah Priatna	ナナ	〃	1958	土木工学	〃
Dwianto, Gatot	ガトット	〃	1961	生産工学	〃

### 第十一期 (1990年10月～91年3月) (13人)

氏名	クラスでの呼び名	国	生年	専攻	専門教育
Phillip Standish Musgrove	フィリップ	オーストラリア	1963	教員養成関係	広島大学
Meryl Siegal	メリル	アメリカ	1957	人文科学・他	〃
Giovanni Gnudi	ジョバンニ	イタリア	1960	原子理学関係	〃
Alfred Alexandar Pinochet	アルフレド	チリ	1961	電気通信工学関係	〃
Pierre Mokhtari	ピエール	フランス	1966	生物学関係	〃
Nguyen Dung Huu	グエン	ベトナム	1960	水産学関係	〃
Jose Micabalo Oclarit	ホセ	フィリピン	1957	生物学関係	〃
Oscar Jr. Giron Gutierrez	オスカー	〃	1962	獣医学・畜産学関係	島根医科大学
Kerin John Hebner	ケビン	カナダ	1959	商学・経済学関係	山口大学
Yeoh Wee Theng	ヨー	マレーシア	1958	応用理学関係	〃
Singye Dorji	ドルジ	ブータン	1962	商学・経済学関係	岡山大学
Yurij Vadimovich Prikhodko	ユーリ	ソ連	1959	応用科学関係	〃
Zulkifli Bin Yaacob	ズルキフリ	マレーシア	1958	商学・経済学関係	〃

日本語研修コース関係講師一覧

第十期（1990年4月～90年9月）

専任	多和田眞一郎	長友和彦	浮田三郎	
非常勤	今石正人	天満伸子	戸田利彦	中川正弘
	西村浩子	井内康輝	今中比呂志	岩月善之助
	中渡道夫	橋本秀夫	山崎和男	鷺見義雄

第十一期（1990年10月～91年3月）

専任	多和田眞一郎	長友和彦	浮田三郎	中川正弘
非常勤	今石正人	天満伸子	西村浩子	橋本敬司
	水野由美	池上 晋	石田三樹	伊藤 操
	清谷克寛	深沢義正		

日本語研修コース（第九期）1989年度（十月～三月）成果報告

日本語研修コース（第十期）1990年度（四月～九月）成果報告

	期 日	授 業 内 容 等	特 別 研 究 指 導 等	備 考
0	10/14	開 講 式 オリエンテーション		
1	10/16~10/20	ひらがな導入 L 1 ~ 4	10/20 原爆資料館・平和公園・青少年センター	
2	10/23~10/27	L 4 ~ 6	10/27 映像文化ライブラリー・ 広島城・縮景園	
3	10/30~11/ 3	L 6 ~ 9		11/ 3 公休日
4	11/ 6~11/10	L 9 ~ 10	11/10 宮島	
5	11/13~11/17	L10 ~ 12		
6	11/20~11/24	L12 ~ 13 中間試験		11/23 公休日
7	11/27~12/ 1	L13 ~ 14	12/ 1 錦帯橋・岩国城	
8	12/ 4~12/ 8	L14 ~ 17		
9	12/11~12/15	L18 ~ 19		「専門用語解説」開始
10	12/18~ 1/22	L20 ~ 22 期末試験		
	12/25~ 1/ 6	冬季休業		
11	1/ 8~ 1/12	L23 ~ 24		
12	1/15~ 1/19	L25 ~ 26	1/19 ガラスの里	1/15 公休日
13	1/22~ 1/26	L27 ~ 28		1/26・27 加計町ホームステイ
14	1/29~ 2/ 2	L28 ~ 29		
15	2/ 5~ 2/ 9	L29 ~ 30 中間試験	2/ 9 尾道市	
16	2/12~ 2/16	L31 ~ 32		2/16, 17, 18 似島合宿
17	2/19~ 2/23	L33 ~ 34	2/23 NHK広島放送局	
18	2/26~ 3/ 2	特別講座 期末試験		
19	3/ 5	特別講座		
00	3/ 6	成果発表, 修了式		

	期 日	授 業 内 容 等	特 別 研 究 指 導 等	備 考
0	4/12	開 講 式 オリエンテーション		
1	4/12~4/13	ひらがな, 初歩文型 L 1 ~ 2		
2	4/16~4/20	L 3 ~ 4	4/20 原爆資料館・ 平和公園・青少年センター	
3	4/23~4/27	L 4 ~ 6	4/27 映像文化ライブラリ ー・広島城・縮景園	
4	4/30~5/4	L 7		4/30, 5/3, 4, 5 公休日
5	5/7~5/11	L 8 ~ 10	5/11 宮島	
6	5/14~5/18	L11 ~ 13 中間試験		
7	5/21~5/25	L14 ~ 16	5/25 錦帯橋・岩国城	
8	5/28~6/1	L17 ~ 19		
9	6/4~6/8	L20 ~ 21	6/8 安佐動物公園	
10	6/11~6/15	L22 前半期末試験		
11	6/18~6/22	L23 ~ 24		「専門用語解説」開始
12	6/25~6/29	L25 ~ 26		
13	7/2~7/6	L27 ~ 28		7/6, 7, 8 合宿
14	7/9~7/13	L29 ~ 30		
15	7/16~7/20	L31 ~ 32 中間試験	7/20 尾道市	
	7/23~8/31	夏季休業		
16	9/3~9/7	L33 ~ 34	9/7 現代美術館・郷土資料館 NHK広島放送局	
17	9/10~9/14	特別講義 期末試験		
18	9/17	特別講座		
00	9/18	成果発表, 修了式		